

第24回全日本少年フットサル大会八戸地区予選実施要項

1. 主催 八戸市サッカー協会

2. 期日 予選リーグ：平成26年10月12日（日）
決勝トーナメント：平成26年10月13日（月祝）

3. 会場予選リーグ：青潮小体育館、市野沢小学校体育館、南郷体育館
決勝トーナメント：南郷体育館

4. 競技規則

- (1) 平成26年度日本サッカー協会の競技規則による。
- (2) 1チームは、GKを含めて5名で構成する。
- (3) 試合中交代ゾーンから自由に交代ができる。ただし、プレー中の選手が完全にピッチを出てから交代選手が入る。
- (4) 試合球は、少年用フットサルボール3号球とし、各チーム持ちよりとする。
- (5) ゴールは、各会場のフットサル用ゴールを使用する。
- (6) 体育館シューズ等で、床に色をつけない、底が白又はアメ色のものとする。
- (7) 予選リーグの「ブロック1位チーム」と「各ブロックの2位チームから上位3チーム」の合計8チームが決勝トーナメントに進出する。
- (8) 試合時間は、予選リーグは16分（8分ハーフ）。決勝トーナメントは24分（12分ハーフ）。ハーフタイムのインターバルは3分。
決勝トーナメントは、準々決勝は引き分けの場合延長なしでPK戦（3人）、準決勝、決勝は引き分けの場合は、3分ハーフの延長戦後、PK戦（3人）。
- (9) 勝敗の決定
5チームブロック5つ、1位5チーム+WC3チームが決勝へ
・予選リーグ…予選リーグ…勝ち3点、引き分け1点、負け0点として、勝ち点の多い順とする。
勝ち点と同じ場合は、①対戦上の勝敗②当該チームの得失点③総得点④グループ内の得失点⑤グループの総得点⑥警告数の少なさ⑦PK戦（3人）とする。WCカード枠で並んだ場合は、予選日程終了後南郷体育館に集まり順位決定PK戦を行う。
- (10) 予選リーグで3チームが並んだ場合はPKの巴戦を行う。その際は各チームから3人ずつ出し、合計6本中何本入ったかで順位を決定する。試合順はくじ引きで決める。4つ巴の場合はPK戦のトーナメントを行う。対戦は抽選で決める。
- (11) 通常のPK戦はフィールドに出ている3人で行うが、その3人で決着がつかない場合はベンチにいるメンバーも含めて決着がつくまで行う。その際の人数はベンチ入りが少ない人数に合わせることにする。
- (12) 反則の累積
・予選リーグ…前・後半を通してカウントする。6個目から第2PK。
・決勝トーナメント…累積のカウントを4とし、前半の数を後半に持ち越さない。但し、延長戦の場合は、後半の累積数を延長戦に持ち越し、5個目から第2PKからのキックを選択できる。

5. 参加資格

- (1) 平成26年度日本サッカー協会登録選手。
- (2) 確実にその選手がチームに所属していること。
- (3) スポーツ安全保険などの保険に加入していること。
- (4) 6年生以下の選手で構成されていること。(12名以内=選手5名+交代枠7名)

6. 表彰

優勝・準優勝・3位チームには、賞状とトロフィーを授与する。

7. 参加料

5,000円(試合当日に会場で集めます。)

8. その他

- (1) ユニホームは、正・副異色を準備すること。
- (2) 試合開始5分前にはメンバーそろって待機していること。
- (3) 審判の割り当ては、各チームで確実にを行うこと。
- (4) 会場及び選手の控室は、絶対に散らかさないこと。各チームのゴミは、責任をもって持ち帰ること。また、体育館の使用に関しては、会場責任者の注意を確実に守らせる。破損の場合は、当該チームに弁償していただく場合もあります。
- (5) 優勝・準優勝・第3位チームは、11月3日(祝)にスポカルイン黒石で行われる県大会に出場する権利を得る。
- (6) 予選リーグの会場設営は前日の夕方か当日の朝に行くが、その設営の際はブロック内の全チームから必ず一人以上手伝いに出向くこと。
- (7) 会場での駐車場係を各チームから一人ずつ出し、円滑に運営を行うこととする。なお、会場によっては駐車場スペースの都合上「駐車券」を発行し、台数制限を行う場合もある。その際はその台数制限を守り、近隣住民に迷惑がかかるような路上駐車は行わないこと。そういう行為が発覚した場合は、チームにペナルティを科す場合があります。